

「町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026」

素案に対する意見募集の実施方法、意見回収状況

1 配布資料

- 町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026【素案】＜概要版＞
- 町田市子ども発達支援計画行動計画2024～2026【素案】

2 実施期間

2023年12月15日（金）～2024年1月12日（金）

3 周知方法

(1) 以下の施設での資料閲覧

- ①子ども発達センター
- ②市庁舎（市政情報課・広聴課・障がい福祉課・子ども総務課）
- ③子ども創造キャンパスひなた村
- ④各子どもセンター、各子どもクラブ
- ⑤中央学童保育クラブ
- ⑥各公立保育園
- ⑦男女平等推進センター（町田市民フォーラム3階）
- ⑧各市民センター、各連絡所
- ⑨各市立図書館、町田市民文学館
- ⑩生涯学習センター
- ⑪町田市保健所（中町庁舎）、健康福祉会館
- ⑫教育センター
- ⑬各障がい者支援センター

(2) 町田市ホームページに実施概要と資料を掲載

(3) 「広報まちだ」（12月15日号）に 実施概要を掲載

(4) X（旧 Twitter）「子ども・子育て情報」 （町田市公式）で配信

(5) LINE 町田市公式アカウントプッシュ通知

(6) 以下の施設にポスターを掲示

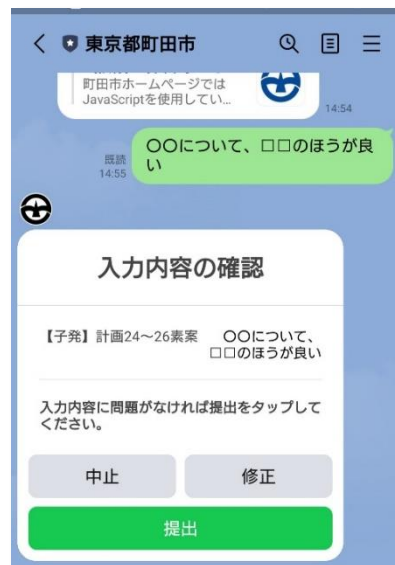
- （1）の資料閲覧場所
- 東京都立町田の丘学園
- 小中学校
- 医療機関（町田市医師会小児科医）

PRチラシイメージ

4 意見の提出方法

書面（様式は自由）にご意見を明記し、1月12日（金）17時までに、以下の方法で提出

- (1) 郵送
- (2) F A X
- (3) メール
- (4) 資料閲覧場所の窓口提出
- (5) LINE町田市公式アカウント



L I N E画面イメージ

5 意見の回収状況

- (1) 意見総数 16件（7名）
- (2) 内容

No	意見（要旨）
1	重度障がい児のいる家庭では、今回の意見募集の資料が設置されている施設に出かけることは少ない。担当の発達支援専門員や保健師から案内があれば助かる。発達支援に関係する希望者のみが発信を受け取れる町田市公式LINEなどがあっても良いかと思う。
2	現在、おむつゴミ袋は市役所や出張所、子どもセンター、病院等に設置されているかと思う。しかし、重度障がい児を抱えて出かけることはほぼない場所である。 出かけられない時期は、発達支援専門員や保健師の面談時に事情を説明し、代理で持ってきていただくなどの協力を依頼している。 おむつを置いているドラッグストアにおむつゴミ袋の設置を提案する。
3	発達支援専門員や保健師には、障がいを抱える子どもの福祉支援や行政サポート、機関との調整について経験や知識が求められ大変なことと思う。 継続して従事できるよう一層の仕組みづくりを望む。
4	パルスオキシメーターをレンタルする場合の助成について、6歳以降も継続して欲しい。

No	意見（要旨）
5	<p>重度障がい児がレスパイト目的で短期入所を利用する際、母親一人で多くの荷物を運び、利用手続きを行わなければならない。</p> <p>その際の交通手段としてタクシー券の利用やあいちゃん号、やまゆり号の利用、通院介助（移動支援）の利用ができない。</p> <p>かつショートステイ施設の利用予約がとれるとも限らないのが現実である。</p>
6	<p>発達に課題のある子どもの計画相談の受け手が少なすぎる。</p> <p>法人内利用者のみ、あるいは医療的ケア児のみに限定されている。</p> <p>報酬単価を町田市独自に引き上げたり、もう少し民間が参入したりする仕組みを作ってはどうか。</p>
7	<p>保育所等訪問支援は、学校の児童・生徒への支援こそ必要である。</p> <p>それなのに受入れを渋る学校がある。</p> <p>障がい特性について理解のない先生も多い中、本当に支援が必要と考える。</p> <p>LD支援がまったく出来ないのも非常に問題である。</p>
8	<p>知能指数が特に高い子どもが、学校の勧めで通級に行くことになったが、内容が本人に合っておらずひどく傷ついてしまった。</p> <p>このような児童に対する教育環境の整備についても議論してほしい。</p>
9	<p>N o 4 と同じ</p>
10	<p>医療的ケア児には常にたくさんの医療機器が必要だが、申請の窓口となる所管課が分かりにくく、必要な支援の情報を集められない時がある。</p> <p>サービスや支援等に関する情報をわかりやすく発信してほしい。</p>
11	<p>大規模災害に備え、医療的ケア児に必要なおむつや医療ケア用品の備蓄を個人単位ではもちろん、市単位でも充実させてほしい。</p> <p>医療的ケアが必要な少数の障がい児者に目を向けていただきたい。</p>
12	<p>子どもには教育を受ける権利がある。お子さんにとってわかりやすい形での支援についても検討してほしい。</p>
13	<p>「冒険遊び場」が今回の計画にない。</p> <p>「どの子どもにも分け隔てなく接してくれる大人の存在」が必要とあるが、「冒険遊び場」は障がいの有無や年齢で分けることなく、共に育ち、違いを知り認め合うことを大切にしており、地域の子育て支援の場となっている。発達に課題のある親子の参加も少なくない。</p> <p>地域に開かれた場である冒険遊び場は、来園者や地域の理解につながっている。</p>

No	意見（要旨）
14	サポートルームの実施にあたり、取組方針に、支援教員の支援力向上を目指し、専門家による研修や巡回などを実施することを盛り込んでほしい。 同時に、利用期間制限の廃止をお願いしたい。
15	療育記録ノートについて、まだ知らない保護者が多いので、配布強化と同時に、関連機関への周知をお願いしたい。また、これを基に関連機関と支援の連携を図ることも目標にしてほしい。
16	子ども発達センターの保育所等訪問支援を小学校でも行い、長年蓄積した支援のノウハウ等を伝えてほしい。

6 結果の公表

2024年3月以降に町田市ホームページ及び資料の閲覧場所にて公表予定